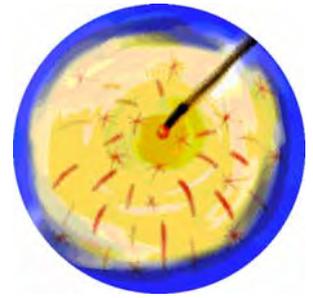


川上ダム通信

2012
9
月号



独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL : 0595-52-1661 (代)
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami>

川上地区事業説明会開催

7月31日(火)に、川上ダム建設所にて水没予定地から集団移転していただいた川上地区の方々を対象にした川上ダム事業説明会を開催いたしました。

説明会では、当建設所の神矢所長から移転者の方々へ感謝の意を込めてご挨拶申し上げ、続いて平成24年度の川上ダム建設事業の概要とともに、現在進めている付替県道青山美杉線の工事状況等についてご説明しました。

今後も地元の皆様方のご意見などを頂戴しながら、事業を実施してまいりますので、引き続きご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

【第一用地課 安田直人】



事業の概要説明状況

五千年の芸術品にふれて

7月29日(日)に、前深瀬川上流の床並川^{とこなみ}で行われた第5回甌穴まつり^{おうけつ}(伊賀市高尾地区)に参加しました。

甌穴とは川のくぼみの中に石が入り流水とともに回転しながら少しずつ岩を削ってきた穴のことで、平安時代の豪族・藤原千方^{ふじわらのちかた}将軍が討ち取った敵の首を甌穴に投げ入れたとされることから血首ヶ井戸^{ちこべがいで}ともいわれ、伊賀市指定の有形文化財になっています。

雄井戸と雌井戸の2つの甌穴があり、雄井戸は直径約1.5m、深さ約4.5mで中はひんやりして壁はつるつるしていました。まさに大自然が五千年の



水を抜いた甌穴内体験

歳月をかけて創り上げたとされる芸術品です。

当日は祭りの安全祈願からはじまり、はしごを使っての甌穴見学、子供達によるマスのつかみ取り、厄除け石の投げ込みなどが行われ、過去最多の200名以上の方々が川沿いの森林の中で自然の造形美と束の間の涼を楽しんでおりました。

甌穴は、通常河川の中にあるため、年1回このお祭りのために川の水の流れを変え、ポンプで水を抜いた際にしか見られません。

興味を持たれた方は、是非来年お越し下さい！

【第二用地課 中村利行】



会場の様子

工事進捗状況

付替県道青美線貯水池横断橋工事

P2橋脚は、ワーゲン（張出施工を行うための移動作業車）の組立作業がまもなく完了し、張出し工を開始します。次号はいよいよ「やじろべえ」の登場です。



ワーゲン組立作業状況



付替県道青美線貯水池横断橋上流部整備工事

貯水池横断橋上流部整備工事は、写真からお分かりいただけるようかなり急峻な場所で実施しています。このような急な斜面を掘削し、高い所では、約16mもの壁高の補強土壁（垂直なコンクリートの壁）を造るとも難しい工事です。

現在、地盤に異常がないか確認しながら慎重に掘削作業を進めています。



【工事課 廣瀬早苗】

掘削状況

第28回桐ヶ丘夏祭り～水資源を楽しく学習

8月4日(土)に、桐ヶ丘団地内の公園で「桐ヶ丘夏祭り」が開催されました。川上ダム建設所も「ダムの役割」、「動植物の保護」や「付替道路工事」といった説明用パネルを掲示したブースを出展しました。

お祭りが始まると、青山太鼓、沖縄エイサー、よさこい踊り、江州音頭など大勢の人で盛り上がっていました。



クイズの答え合わせ



説明用パネルを見てクイズに挑戦

当建設所のブースでは、水に関するクイズに約100名もの来訪者にチャレンジしていただきました。

どの人もクイズを通して楽しく学べ満足げな様子で、水の知識や川上ダムについて、より深く知っていただくことができました。

【第一用地課 安田直人】

第12回河川環境フェスティバル開催

8月4日（土）に、伊賀市阿保の木津川河川敷で、伊賀市や青山地域の住民自治協議会などで構成された実行委員会主催の「第12回河川環境フェスティバル」が開催され、河川環境保全に関するパネル展示やアユのつかみ取りが行われました。

当建設所ではブースを出展し、パネル展示と水質調査学習コーナーを設け、子供たちに水質実験をしてもらいました。木津川の水やジュースを使って、水質の違いを色で識別する実験に、子供たちは熱心に取り組んでいました。

アユのつかみ取りに参加した子供たちは、びしょ濡れになりながら元気にアユを追いかけていました。つかみ取りの後は、アユの塩焼きがふるまわれ、それをほおぼりながら楽しそうに団らんする親子連れの姿が印象的でした。



アユのつかみ取り

団らんする親子連れの姿が印象的でした。

当建設所では、今後もこうした地域のイベントなどに参加し、河川環境保全の啓発活動に積極的に取り組んでいきます。

【総務課 湯本洋】



パネル展示



水質調査学習コーナー

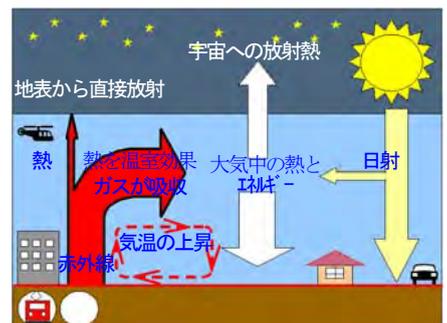
井5 環境用語集

ちきゅうおんだんか

環境用語集第5回目は、**地球温暖化**について説明します。

地球温暖化とは、人間の活動の拡大により二酸化炭素（ CO_2 ）をはじめとする温室効果ガスの濃度が増加し、地表面の温度が上昇することを指します。

通常、太陽からの日射は大気を素通りして地表面で吸収され、加熱された地表面から赤外線の形で放射された熱が温室効果ガスに吸収されることによって、地球の平均気温は約 14°C に保たれています。この温室効果ガスが無かった場合、地球の平均気温は -19°C になってしまうといわれています。



地球温暖化の流れ

ところが、近年産業の発展による人間活動により、温室効果ガスの濃度が増加し、大気中に吸収される熱が増えたことで、地球規模での気温上昇（温暖化）が進んでおり、気温上昇に伴い海面上昇、干ばつなどの問題を引き起こし、人間や生態系に大きな影響を与えることが懸念されています。

温室効果ガスの濃度上昇の原因は、石炭、石油等の化石燃料の燃焼であり、さらに大気中の炭素を吸収貯蔵する森林の減少がそれを助長しているといわれています。

現在、世界で問題になっている地球温暖化ですが、我々一人でもできる活動もあります。そのひとつがゴミを減らすことです。ゴミは燃えるときに CO_2 を発生させるため、ゴミを減らせば CO_2 の発生も減らせるのです。身近にできるところから積み重ねることは何事にも重要です。

【環境課 笹原智弘】

あ お は ね

阿保・羽根・川上の歴史探訪

第1回 沢代遺跡は古代の役所跡だった！？

平成5年の12月に、川上ダム建設所が事務所を現在地に移転することになり、青山町（当時）教育委員会が現在地の発掘調査を行いました。その結果は、古墳時代前期の竪穴住居が13棟、奈良時代の堀立柱建物2棟の跡が確認されました。その住居からは、当時の人々が毎日の生活に使っていた甕、高坏、壺、鉢などがたくさん掘り出されました。その中には、墨書土器（裏底や側面に文字や人面などを墨書した土器）や円面硯（丸い形のすずり石）がありました。これは重大な発見で、この遺跡が庶民の住居跡ではなく、古代の役所跡であった証拠品になる貴重なものでした。

古墳時代や奈良時代に、文字を読み書きできるのは、ほんの少数の上級官吏よりいかなかったはず、とすれば伊賀郡の役所（郡家）がここにもあったと思われます。

伊賀郡の郡家の所在地については、古くは旧上野市の古郡、時代が下れば上郡、下郡にあったというのが定説になっています。古郡より古い郡家が阿保にあったとすれば、阿保頓宮の辺りだと思っていたのですが、広々とした田園地帯で、古代より洪水が起きていたと思われる沢代に役所があったとは！？

川上ダム建設所の方々も、遠い昔の景色や、役所で働く人々の姿を彷彿とさせて下さい。

【松本仁志】



沢代遺跡の発掘



沢代遺跡発掘現地説明会（平成6年2月28日）

執筆者のご紹介

今月号から川上ダムやその周辺に関連する歴史などの記事を連載いただく松本仁志先生をご紹介します。

松本先生は、伊賀市（旧青山町）出身の83歳。旧制上野中学校（現上野高校）を卒業し、昭和22年に阿保町（青山町の前身）役場採用、36年の長きにわたり勤務され、総務財政課長などの要職を歴任されました。役場職員の頃から青山町の歴史探求を続けてこれ、新聞への郷土史関連記事の寄稿や本の出版をされていました。退職後は阿保公民館長や青山町文化財専門委員などを務めるかたわら、歴史研究会等を結成し歴史愛好家の方々への指導、助言に努めてこれられました。



松本 仁志 先生

80歳を超えた今なお郷土史家としてあらゆる方面でお元気にご活躍中で、今回の連載依頼にもご快諾いただきました。本誌面を借りて改めて厚くお礼申し上げます。

【第二用地課 中村利行】

編集後記

夏は薄着になり、山や川で遊ぶことがあると思いますが、蜂が活発に活動しています。山や川に入られる際、巣がありそうな数にお近づかない、長袖の服を着る等の対策をとる等、蜂には十分ご注意ください。

【広報誌発行事務局】

編集長 神矢（所長）
デスク 大友（総務課長） 田中（工務課長）
記者 湯本（総務課） 松高（第二用地課） 本田（調査設計課）
笹原（環境課） 廣瀬（工事課）

皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。
ハガキやメール等でどしどしお寄せ下さい。

宛先 〒518-0294 三重県伊賀市阿保251番地
独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
メール somui@lily.ocn.ne.jp
◇川上ダムはISO14001を取得し、環境保全を推進しています。



お詫び：8月号の文章で誤りがありましたので訂正いたします。
#4 環境用語集 8行目 訂正前：沖縄 訂正後：鹿児島
大変失礼致しました。